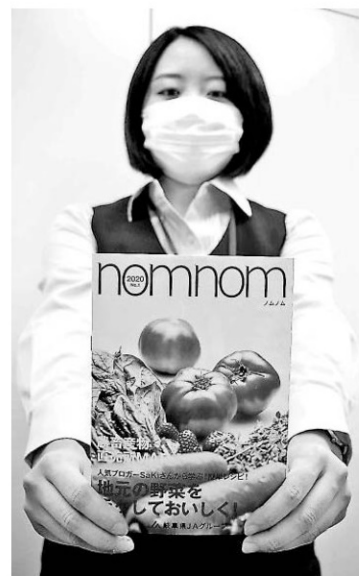


直売所情報誌 創刊

J A 岐阜中央会 地産地消を推進



J A 岐阜中央会が発行した直売所情報誌

J A 岐阜中央会は、地産地消を推進して新型コロナウイルスの影響を受ける地域を元気づけようと、直売所情報誌「nomnom」を創刊した。創刊号は2万部を発行、県内のJ A支店などで無料配布している。県内のJ A直売所や、県

産農産物を使ったレシピ、農産物や加工品を紹介するなど多彩な情報を掲載した。タイトルの「nomnom」は食べ物と味わっているときの英語の擬態語で、冊子をきっかけに農業に出会い(meet)、仲間(mat e)になってほ

しいとの思いを込めた。A5判、16ページ。創刊に併せて、クイズとアンケートに答えた人の中から抽選で飛騨牛券などを

プレゼントするキャンペーンも来年1月末まで行っている。担当者は「冊子がコロナ収束後の地域の活性化に少しでもつながれば」と期待している。

また、小学校などの休校に伴い、学校の畑で植物の栽培が困難になることを想定し、家庭でペットボトルを活用した大豆の栽培方法を紹介するリーフレットの作成も進めている。県内の小学校などにデータを提供して活用を呼び掛ける。

(森嶋哲也)